発表15分+質疑応答5分

【発表の流れ】

1. タイトルとサブタイトル

　・チーム名/アプリ名/アプリのロゴ

1. アジェンダ

　・以下の通り

1. チームの概要

　・各チームメンバーの名前と役割

　・チーム名の説明　　　★ネタっぽくても良いかも？？

　・チームとしての特徴　★　　〃

　　（例）おしゃべりが集まって意見がまとまらない！！

★生産者の顔　みんなの写真

1. 製作物について

【アプリを開発するまでの背景】

　・問いかけ　★ここでつかみがほしい！！当事者意識を持たせたい

　　　　　　　★👍ボタンで反応してもらう

　　　（例）受講者の皆さんへ　〇〇ではありませんでしたか？

　　　　　　講師の皆さんへ　　　　　〃

　・従来のSlackによるコミュニケーション/質問対応の問題点

　　　受講者側の声：

・待ち時間が長い

→Slackの質問チャンネルのスクショを乗せる

　　　　　　・質問チャンネルに質問がしづらい

　　　　　　・他グループのメンバーと接点がない

　　　　　　・過去の質問と回答をさかのぼるのが大変

　　　講師側の声：

　　　　・質問対応に時間がとられる

・質問がDMにたまる

→Slackの質問チャンネルのスクショを乗せる

　　　　　　　↓

　　「お悩み解決します！！」的な

【システム概要】

　★このアプリがどれだけ素晴らしいか伝える

　★従来のSlackとどう違うかを伝える

　★講師と受講者の気持ちどっちも考えたよっWinWinアプリ

　・上記の問題点を解決するための新機能紹介

合計：18個

　　　匿名機能　スクショで貼る

　　　チャット機能

　　　アカウント機能　スクショ

　　　質問検索機能　スクショ

　わたしもボタン機能

　　　…

　・受講者側のメリット：★考える

　・講師側のメリット：★考える

1. デモンストレーション

デモを行うのは吉野

* 1. 質問投稿　　大井川さん

　　画像編集するとき

（次の紹介する）

（わたしもボタン機能説明）

* 1. 未解決質問　大井川さん
  2. カテゴリー　椹木さん/横倉さん

（画像投稿はデモ）

* 1. マイページ　吉野/清水さん

上記の機能を実際に動かす程度

なんということでしょう～～～！！

★音楽を流す

1. アプリの効果

待ち時間解消:レスポンスが〇〇秒早い

質問投稿前後（Slackとアプリ）

先生のSlackのBeforeとAfter　匿名/画像投稿機能によって全体質問チャンネルへのハードルが下がって、DMをする必要がなくなる

⑦　/チームとして達成したこと・できなかったこと/アプリ開発を円滑に進めるためにチームとして工夫したこと　等々…

★要相談

　★チームの頑張りや成果を視覚的に証明したい

　　（例）進捗管理をGoogleドライブで行った

　　（例）

1. 個人の振り返り　5分（1人1分）

・担当したServlet/JSP/DAOの表作成（全員が担当したことを証明）

・目標/成果/今後に向けての目標（課題）（ひとこと）

本筋

あきらめなかったこと

・話の本筋がそれたおかげで、機能をたくさんつけることができた

良かったところ

自ら能動的に作業をしていた点。

コミュニケーションお化けだった点。

困難

作業の進捗が共有できず、エラーや競合が多発した

話がずれちゃう。

解決

グーグルドライブ/ファイル構成一覧表で作業の進捗を可視化した

　　反省点について話し合いの場を必ず設け、翌日の作業に活かした（議事録の反省）

　　成長

　　コミュニケーション能力はしゃべることだけでないことを学んだ

　　　具体的

：傾聴力

：「本筋を忘れない」という意識をしてコミュニケーションを取った

：チーム全員で技術力の底上げができた